

2026 午生まれ 大集合

2026 年は午年です。今回の特集では、
滝川市の午年生まれの皆さんを新年の抱負とともにご紹介します。

滝川市の2025 振り返り

【1月】

・国学院大学陸上競技部「駅伝チーム」滝川合宿受入実行委員会が箱根駅伝の観戦応援を市役所で実施

【2月】

・ティラノサウルスレースや雪中宝さがしなどを行う「滝川ふれ愛の里ぽかぽか冬まつり」を開催

【3月】

・JR東滝川駅が惜しまれながら廃止となる

【4月】

・滝川西高等学校商業クラブが「滝西うまいものマーケット」を初開催



1978 (S53) 年生まれ
曾根 英司 さん



1990 (H2) 年生まれ
西塚 滉 さん



2002 (H14) 年生まれ
岡本 健太郎 さん



2014 (H26) 年生まれ
鷺尾 紗奈 さん



毎年、午年の方々と集まり、多世代で交流を行っています。十二支が同じという共通点を通じて、幅広い年代の方々と話すきっかけになっていて、今年はさらに多くの午年の方と出会い、交流を深めたいと考えています。

有限会社今村建設代表取締役の曾根さんは、安心してらせる住まいづくりを掲げて建設業を営んでいます。入社後に建築士の資格を取得し、8年前に先代から会社を継承。これまでにお客様と築いてきた信頼のバトンを、さらに確かなものにして次世代へつなげたいと力を込めます。インターネットが発展した今だからこそ「人と直接会うことでこそ生まれる信頼がある」との思いを胸に、今年はこれまで以上に地域へ足を運び、住民の皆さんの声に耳を傾けていきたいと話します。



部活動では卓球部の顧問を務めています。私自身も生徒に混ざって練習に参加することがあり、生徒の成長を間近で感じられることに大きなやりがいを感じています。中学生の皆さん、入学後はぜひ卓球部ののぞいてみてください。

滝川西高等学校で1年生の担任を務め、英語の授業を受け持つ西塚さん。教員を目指したのは、学生時代にさまざまな先生に支えられた経験から「今度は自分が次の世代へ恩返しをしたい」と思ったことがきっかけでした。現在のクラスの生徒たちは、とても素直で話をよく聞いてくれるため、毎日の授業が進めやすいと話します。最近では、周囲をまとめる場面も増えてきたことから、一つひとつの行動に心を込め、より責任をもって取り組んでいきたいと、新年の抱負を語ってくれました。



小学4年生から野球を続けていて、現在も社会人チームで活動しています。チームは学生のところとは違い、年齢層が幅広く新鮮に感じています。また、野球をすることで、仕事の良いリフレッシュにもなっています。

岡本さんは、江部乙で農業をしている親のアシスタントとして、また隣町で農業協同組合の臨時職員として、農業に関わる仕事を行っています。子どものは分らなかった農業の大変さも、父親の働く姿を間近で見ると多くのことを学んだといい、いずれ農家を継ぎ、父親のようになりたいと語ります。今年も農業用ドローンの免許取得を目指していて、今後さまざまな技術を学び、農家として成長していきたいと力強く意気込みます。



去年一番の思い出は、学習発表会で初めて木琴を演奏したこと。両手を使って演奏することが大変でしたが、練習を重ねるうちに少しずつできるようになり、本番では上手に演奏することができて、とてもうれしかったです。

滝川第一小学校5年生の鷺尾さんは、児童会の書記として学校をよりよくするための活動に励み、「今年には児童会長になりたい」と意気込みを語ります。そんな鷺尾さんの夢はカメラマンになること。ホテルに飾られたさまざまな写真に心を動かされ、多くの人の笑顔の瞬間を撮りたいと目を輝かせます。今年の目標については「最上級生として、児童会の一員として、より笑顔あふれる学校にしていきたい」と教えてくれました。

【東小学校開校】



ほかにも…
・第一回市民冬まつり開催

【滝川市開基 100 年記念式典】



ほかにも…
・川の科学館オープン

【学童保育事業開始】



ほかにも…
・滝新橋開通
・滝川ふれ愛の里温泉入浴者150万人を突破

【中空知定住自立圏形成協定締結】



ほかにも…
・総合福祉センターが閉館

の人が生まれた年の
滝川市では…

【5月】
ふるさと納税返礼品として北海道初の「1日市長体験」を実施



【6月】
滝川市内線バスデザインお披露目式典では、滝川西高等学校の生徒がデザインしたラッピングバスが登場

【7月】
滝川ふれ愛の里1階にふれ愛の里地域子育て支援センター、2階に休息スペース「やすみん」を開設



【8月】
STEAM教育体験施設ミラーボをこども科学館に期間限定で開設

【9月】
たきかわコスモスマラソン2025が行われ、雨天の中ランナーたちが駆け抜ける



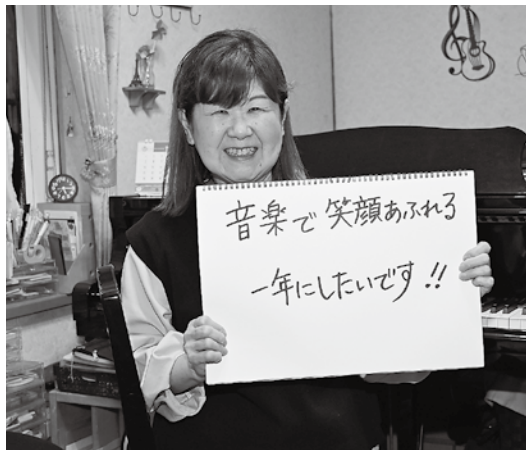
【10月】
江部乙小学校開校50周年記念事業として子どもたちが手作りロケットを打ち上げた

【11月】
青少年時代に滝川でグライダーを経験したパイロットやCAを招き、青少年航空セミナーを実施



【12月】
滝川消防団第六分団・第七分団が統合し、消防力を強化

井内 明美さん
1966(S41)年生まれ

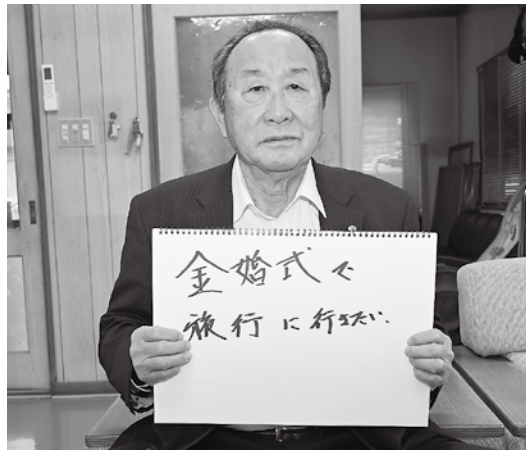


平成元年から井内ピアノ教室を営む井内さんは、幼少期よりピアノに親しみ、音楽学校へ進学後、音楽会社でピアノ講師になりました。その経験を生かして、現在の教室をはじめました。これまで教室で学んだ生徒さんが音楽に関わる仕事に就いたり、結婚報告に訪れたりしてくれることがあるそうで、今でもつながりがあることが教室を続けていて良かったと感じる瞬間だといいます。教室は年齢を問わず受講でき、音楽に触れるきっかけとして多くの人に笑顔で楽しんでほしいと話します。



教室では、音楽を楽しむ気持ちを大切にしています。小さなお子さんが教室ではできなかったことを家で練習してできるようになり、「できたよ!」とうれしそうに伝えてくれたときは、講師として大きな喜びを感じます。

渡邊 要さん
1954(S29)年生まれ



渡邊さんは昭和63年に株式会社渡邊建設を設立し、以来、代表取締役として建設業を営んでいます。会社を立ち上げてからの長い年月の中では、多くの困難にも直面したといいますが、それらを乗り越え、今日まで歩んでこられたのは「お客様、そして支えてくれる従業員ののおかげです」と振り返ります。



趣味として、30年ほど前からゴルフを続けています。簡単に上達しないところにゴルフの魅力を感じています。ゴルフで知り合った仲間と会話を楽しみながらプレーする時間は、良い息抜きにもなっています。

前森 裕子さん
1942(S17)年生まれ

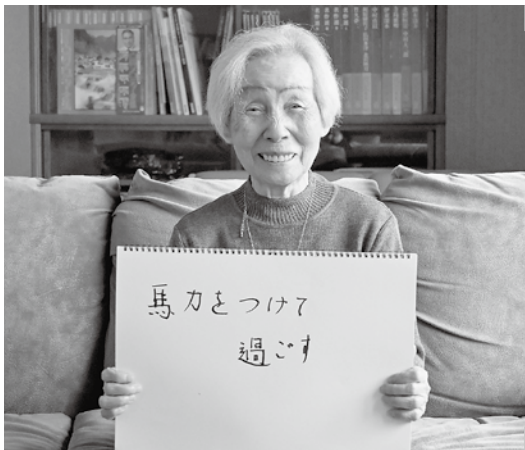


老人クラブの会長をはじめ、お寺の婦人会や消費者協会などの活動に参加している前森さん。参加のきっかけは「担い手が少ないなら、私がやろう」という思いがあったと話し、地域への深い思いが伝わってきます。趣味も非常に多彩で、家庭菜園では約30種類の野菜を育てているほか、絵を描いたり、手芸では着物の帯をかばんへリメイクしたりして日々を楽しんでいます。今年もたくさんさんの趣味に没頭して、充実した一年を過ごしたいと新年の抱負を語ってくれました。



平成26年に、趣味の手芸を生かして、カンボジアの子どもたちに裁縫やミシンの使い方を教える活動に参加しました。言葉は違っても、身振り手振りで気持ちが通じ合い、今でも心に残る大切な思い出となっています。

関 ミサホさん
1930(S5)年生まれ



埼玉県から滝川に転入し、サービス付き高齢者向け住宅「ゆい」で暮らしている関さんは、住宅内で行われる行事に積極的に参加しています。なかでも、童謡などを歌う「歌の会」では、入居者の皆さんと声を合わせて歌う時間がとても楽しいと話します。また、健康づくりのために日頃から、運動や体操を欠かさず行っているそうです。今年も「健康第一」で一年を通して元気に充実した日々を送りたいという思いが新年の抱負には込められています。



毎日30分ほど、健康維持のために体操などの運動を続けています。運動が終わった後は、周りの人とおしゃべりしながら水分補給をするのが日課です。そのひとときもとても楽しく感じています。

【富平浄水場試験通水開始】



ほかにも：
・市立東栄高等学校閉校
・滝川市消費者協会設立

【台風15号による災害発生】



ほかにも：
・幌倉駅を東滝川駅と改称

【人造石油合成総合運転開始】



ほかにも：
・大日本婦人会滝川支部結成

【熊穴川土功組合貯水池記念碑建立】



ほかにも：
・第一回スキー大会を石山スロープで開催